MITSUBISHI

三菱液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT233WLM シリーズ

(AX004)

取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
  特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」は「保証書」と共に大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P6,14, 49参照
- この取扱説明文書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。（画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。）

www.pc-eco.jp

もくじ

ご使用の前に

何ができるの？

省エネで節約

ECO Professional機能（ECO PROF.） →P26,P33

ECO設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

パワーマネージメント機能 →P39

待機電力は、スリープモード時0.35W以下/オフモード時0.2W以下です。

コンテンツに合った適切な画質を簡単設定

DV MODE機能（Dynamic Visual Mode） →P30,P36

スタンダード、IVテキスト、フォト、sRGB、TV、シネマ、ルックアップの7つのモード設定から、お好みに応じた画質モードをお選びいただけます。

複数台のコンピューターやAV機器と接続可能

3系統入力 →P15

アナログ出力とデジタル出力のコンピューターを本機につなぎ、画面を切り替え表示させせることができます。

HDMI入力コネクター装備 →P11,P18

コンピューターやAV機器とHDMI接続することができます。

DVI-D（HDCP対応） →P18,P50

コンピューターやAV機器のHDMI出力端子と本機のDVI-D入力端子の間を市販の変換ケーブルで接続すると、AVタイミング信号を表示することができます。

お知らせ

●全てのHDMI機器への接続を保証するものではありません。

コンポーネント信号対応 →P18,P51

AV機器のD出力端子やRCA出力端子と本機のミニD-SUB入力端子の間を市販の変換ケーブルや変換アダプターを使用して接続すると、AVタイミング信号を表示することができます。

オーバースキャン機能搭載 →P30

AV信号を表示する場合､映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。
「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

精緻な階調表現力を生かした、高精度なガンマ補正

10ビットガンマ機能 →P50

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

画面をお好みの状態に調節/設定できる

OSD(On Screen Display)機能 →P27〜P38

画面の明るさ、表示位置やサイズの調節、カラー設定、ECO PROF.機能設定などをOSD画面により調節することができます。
OSD機能そのものに関する操作（OSD表示時間、操作ロックなど）もできます。

壁寄せ設置できる

分割方式ベーススタンド →P14

前後分割可能なベーススタンドの採用により、後部ベースを取り外すことで壁に寄せる設置ができ、机を広く使うことができます。

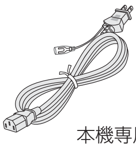
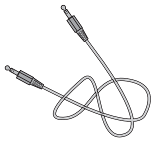
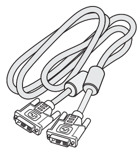
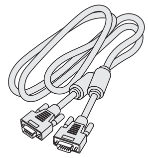
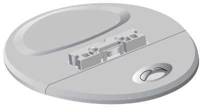
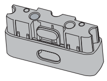
ブロックネックで画面の高さを調節できる

ブロックネックスタンド →P14

付属のブロックネックの装着数を加減することによって、お好みの画面の高さへ段階的に調節できます。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド 	電源コード AC100V専用  本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。	オーディオケーブル 	信号ケーブル DVI-D－DVI-D（デジタル接続用）  ミニD-SUB15ピン－ミニD-SUB15ピン（アナログ接続用） 
ベーススタンド 	ブロックネック（高さ調節用　3個） 	保証書（梱包箱に貼り付けてあります。）	

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取扱い上、特に守っていただきたい内容
お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容
→PXX：参考にしていただきたいページ
Win Mac：Windows®とMacintosh両方に関わる内容
Win：Windows®のみに関わる内容
Mac：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」→P3
言葉と意味で探す→「用語解説」→P50
もくじで探す→「もくじ」→P2
さくいんで探す→「さくいん」→P53

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（★★☆ 2010年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト：www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss(JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：　RDT233WLM / RDT233WLM(BK)

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

絶対におこなわない	必ず指示に従っておこなう
絶対に分解・修理・改造はしない	必ずアースリード線を接続する
必ず電源プラグをコンセントから抜く	高圧注意（本体後面に表示）
絶対に水にぬらさない	絶対に触れない
絶対に濡れた手で触れない	挟み込みに注意する

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

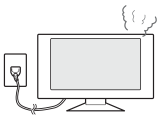
⚠警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

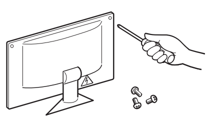
故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない



使用禁止

火災・感電の原因になります。

裏ぶたをはずさない



高圧注意　分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因になります。

修理・改造禁止

異物をいれない

特にお子さまにご注意

禁止

通風口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。



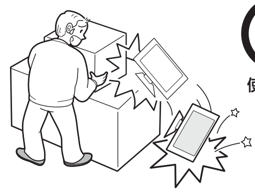
万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

風呂場や水のかかるところに置かない

水ぬれ禁止

水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

キャビネットを破損したときは使わない



使用禁止

火災・感電の原因になります。

アースリード線を接続する

アースリード線を接続する

アースリード線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。
アース接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前におこなってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

アースリード線を挿入・接触しない



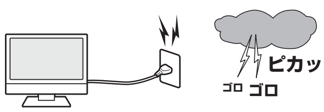
禁止

電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因になります。

接触禁止



警告

取扱いについて

ポリ袋で遊ばない　**特にお子さまにご注意**

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。

禁止

本機にのったり、ぶら下がったりしない
特にお子さまにご注意

落下してけがの原因になります。

禁止

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。

警告

傾斜面や不安定な場所に置かない

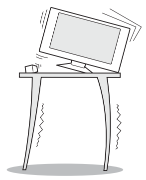
落ちたり、倒れたりして
けがの原因になります。



禁止

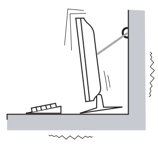
転倒・落下防止対策をおこなう。

転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対しての効果を保証するものではありません。



転倒・落下を防止する

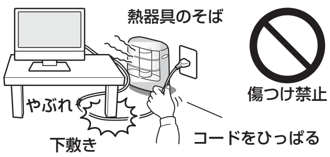
設置台を補強する



丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

電源および電源コードについて

電源コードを傷つけない



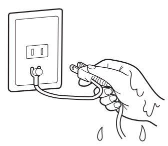
傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。

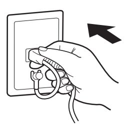
正しい電源電圧で使用

一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。
AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。

電源プラグを奥まで差し込む

しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。

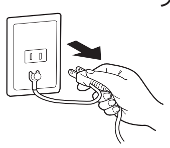
しっかり差し込む



電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。

プラグを持つ



電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。

ほこりを取る

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.

プラグを抜く

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

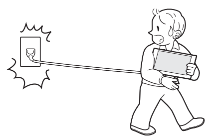
火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。
電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認の上、移動してください。



禁止

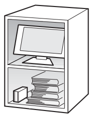
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

⚠注意

設置のときは次のことをお守りください。

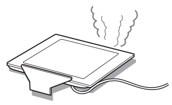
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

狭い所に置かない



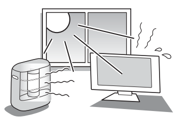
設置禁止

あお向けや横倒し、さかさまにしない



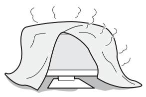
禁止

直射日光や熱器具のそばに置かない



設置禁止

布などで通風孔をふさがない



禁止

屋外での使用禁止

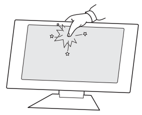
本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となることがあります。

屋外での使用禁止

液晶パネル面を強く押さない

傷がついたり、破損してけがの原因になります。
持ち上げる際または運搬の際に、液晶パネル面に指をかけて強く押さないでください。

禁止



車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。

禁止

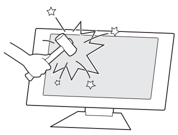
手の挟み込みに注意

スタンドの角度調節時や取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。

手の挟み込みに注意

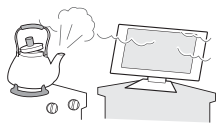
液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因になります。



禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない



設置禁止

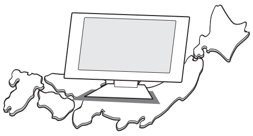
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

使用上のお願い

液晶ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です





この液晶ディスプレイは
日本国内用として製造・
販売しています。
日本国外で使用された場合、
当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術
相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and
can not be used in any other countries.

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cm
はなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。明
るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用く
ださい。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲
れます。

長時間同じ画面を表示しない



長時間同じ画面を表示していると、画
面表示を変えたときに前の画面表示が
残ること（残像）がありますが故障で
はありません。画面表示を変えること
で徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると
消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い
方は避けてください。
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、
使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフする
ことをおすすめします。

1年に一度は内部掃除を



内部にほこりがたまったまま使うと、火災や
故障の原因になります。

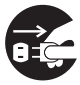
内部掃除は販売店にご依頼ください。



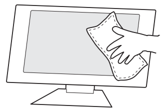
液晶ディスプレイを廃棄する場合

本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、
回収・リサイクルにご協力ください。
（ →P45 本機を廃棄するには）

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。



液晶パネルのお手入れ



パネル表面は傷つきやすいので、固いもので
押したりこすったりしないように、取り扱い
には十分注意してください。
パネル表面は触指などにより汚れることのな
いようにご注意ください。
パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってく
ださい。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の
繰り返し使用はお避けください。
溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。
その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノ
ール、イソプロピルアルコール）推奨以外の溶剤（酸、アル
カリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴
等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディ
スプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますの
でご注意ください。

キャビネットのお手入れ



柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れが
ひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した
布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げ
てください。



キャビネットを傷めないために





キャビネットの表面はプラスチックが多く使
われています。
ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコー
ル系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨ク
リーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけ
たりしないでください。変質したり、塗料がはげ
る原因となります。
（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従
ってください。）
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触
させたままにしないでください。
キャビネットが変色したり、変質するなどの原因
となります。

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時には、水/ゴミ/ホコリや衝撃の保護のために、ご購入時の包装材（箱／袋／緩衝材）を使用されることをお奨めします。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。
  本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

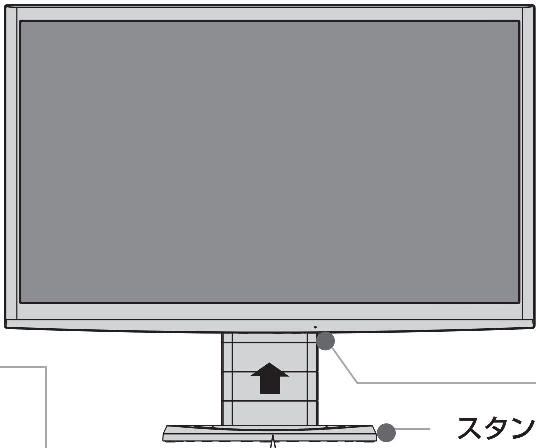
  お知らせ
  有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
  「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixel)」となります。
  つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

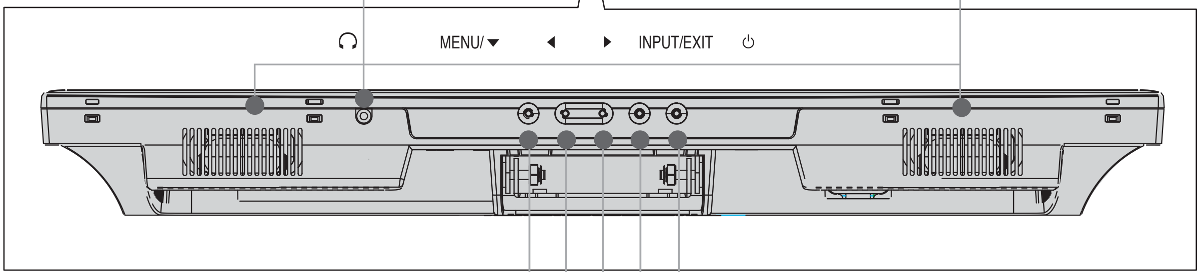
本体正面



電源ランプ
電源を入れたとき電源ランプは緑色に点灯します。
パワーマネージメント →P39 機能が作動中は橙色に点灯します。
消画モード →P33 機能が動作中は緑色で点滅します。

ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して使用できます。

底面視



MENU/▼ボタン
OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
縦方向の副項目メニューを選択します。

◀ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
設定したホットキー機能が動作します。
工場出荷時設定：DV MODE
OSD画面が表示されているとき
左方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

▶ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
設定したホットキー機能が動作します。
工場出荷時設定：音量
OSD画面が表示されているとき
右方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

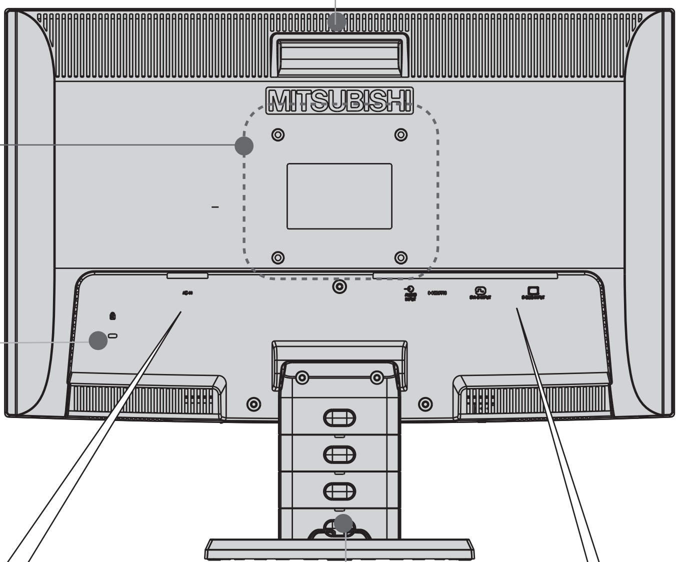
INPUT／EXITボタン
OSD画面が表示されていないとき
→D-SUB→DVI-D→HDMI
の順で入力切り替えを行います。
OSD画面が表示されているとき
選択しているOSD項目メニューから抜け出る時に押します。
主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD画面が消えます。

電源スイッチ
電源をオン／オフします。

お 願 い
電源を短時間のうちにひんぱんにオン／オフしないでください。
故障の原因となることがあります。

お知らせ
- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」→P28 をご覧ください。
- ◀ボタンと▶ボタンにはDV MODE、音量、消音、ブライトネス、消画モード、オフタイマーの中からお好みの機能をホットキー（ボタンでの直接操作）として割り付けることができます。→P34

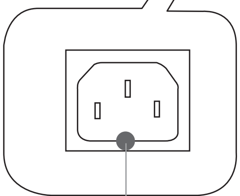
本体背面



把手
持ち運びに便利です。

VESA規格準拠穴
（以下、VESA穴と記載）
市販のアームスタンドを取り付けられます。
(M4-100mmピッチ)
→P48

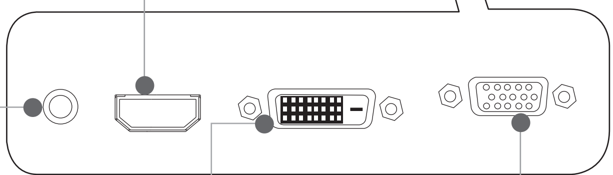
盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー（Kensington 社製）を取り付けられます。



ケーブルホルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。

電源入力コネクター
電源コードを接続します。

HDMI入力コネクター
市販のHDMIケーブルでAV機器またはPCと接続します。



オーディオ入力端子(ミニジャック)
付属のオーディオケーブルでPCと接続します。
お知らせ
D-SUB、DVI-D入力時に有効です。
HDMI入力時は音声選択機能 →P32 を「PC」に設定している場合に有効になります。

信号入力コネクター(D-SUB)
付属のミニD-SUB15ピンケーブルでPCと接続します。

信号入力コネクター(DVI-D)
付属のDVI-DケーブルでPCと接続します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために・・
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

使用の準備

使用するための流れ

[準備1] **ディスプレイを組立てる** →P13
ブロックネックをお好みの画面高さになる数量で重ねる
ブロックネックとベーススタンドを組み合わせる
完成したスタンドを本体に取り付ける

必要に応じて

[準備2] **スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる** →P14

[準備3] **ディスプレイとコンピューターを接続する** →P15
1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）
2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）
2台または3台のコンピューターを接続（デジタル2系統／アナログ1系統同時接続）
コンピューターのオーディオ出力端子と接続

必要に応じて

[準備4] **ディスプレイとAV機器を接続する** →P18

[準備5] **ヘッドホンを接続する** →P19

[準備6] **電源コードを本機に接続する** →P20

必要に応じて

[準備7] **ケーブルをまとめる** →P20

[準備8] **電源プラグのアースリード線を接続する** →P21

[準備9] **電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する** →P21

[準備10] **設置する** →P22

必要に応じて

[準備11] **画面の角度を調節する** →P22

[準備12] **画面調節** →P23

必要に応じて

[準備13] **Windows® セットアップ情報** →P25

[準備14] **省エネ設定をする** →P26

これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

[準備1] ディスプレイを組立てる

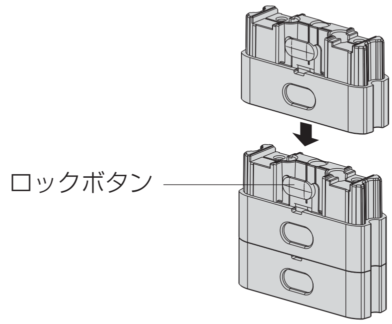
お願い

組み立ては、必ず「手順1」→「手順2」の順番で実施してください。

「手順1」スタンドを組立てる

ブロックネックをお好みの画面高さになる数量で重ねる

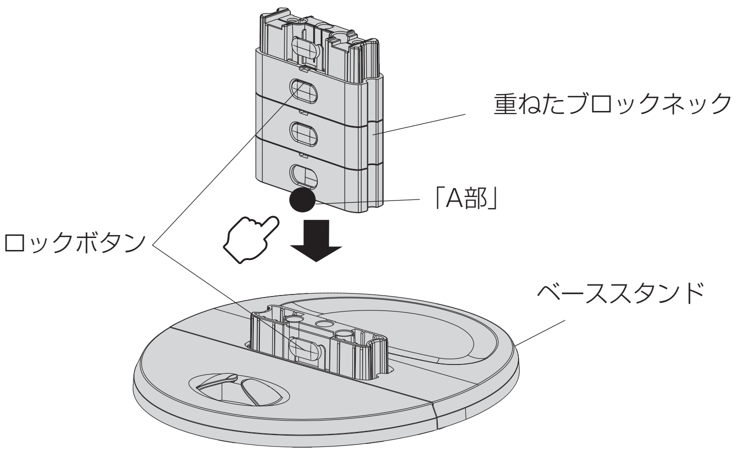
付属のブロックネックは、画面高さがお好みの位置になる数量をお使いください。
説明図は付属のブロックネック3個を全て使用した状態です。



付属の2段ブロックネックと1段ブロックネックを積み重ねます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

ブロックネックとベーススタンドを組み合わせる

付属のベーススタンドに重ねたブロックネックを取り付けます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

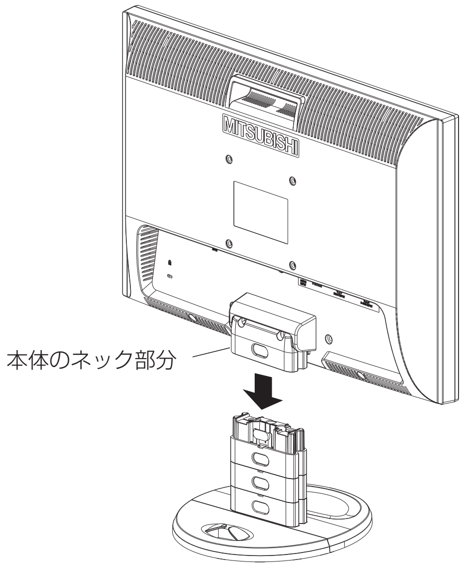


お知らせ

ブロックネックをベーススタンドへ差し込む時、ベーススタンドのロックボタンを軽く押すと挿入が容易になります。
ベーススタンドの溝に入りにくい場合は、**指を挟まないように注意しながら**A部を押してください。

「手順2」完成したスタンドを本体に取り付ける

図のように水平な机の上に、ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたベース部を置いてください。
本体に装着されているネック部分と最上段のブロックネックの凹凸部を重ね合わせて、ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



⚠注意

- **ベーススタンドとブロックネックが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。**
  取り付けた際に、ベーススタンドとブロックネックのロックボタンが正常にかみ合っていることを再確認してください。
- **スタンドを組立てる際に、指を挟んで怪我をしないように手袋をして作業することをお奨めします。**

語句説明

スタンドとは、付属のベーススタンドとブロックネックを組立てた状態を示します。

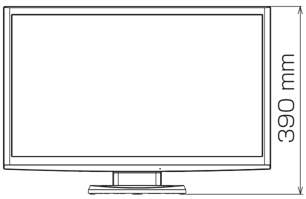
[準備1] ディスプレイを組立てる（つづき）

ブロックネックスタンドの特長

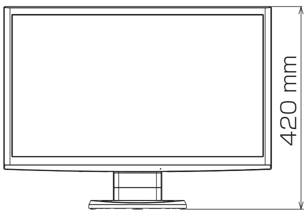
本機は、付属の分割式ベーススタンドとブロックネックの組み合わせ次第で、お好みに応じた様々な設置スタイルに対応します。

ブロックネック装着数を加減することで画面高さを段階的に調節できる

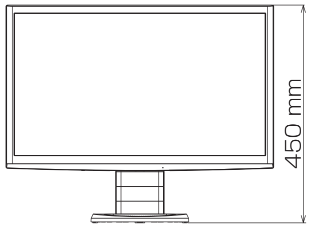
付属のブロックネックの装着数を加減することによって、お好みの画面の高さへ段階的に調節できます。



ブロックネック１個の場合



ブロックネック2個の場合



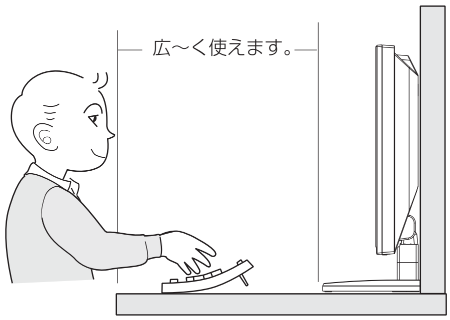
ブロックネック3個の場合（最大）

後部ベースを外すと壁寄せ設置できる

付属のベーススタンドは前後を分割できます。
標準仕様のまま使用する以外に、後部ベースを取り外すことで壁に寄せて設置することができます。
机の奥行きが狭い場合は、キーボードで狭くなった机を広く使用することができます。

⚠注意

後部ベースを外した場合、本機を壁から離さないでください。
転倒する恐れがあります。けがや破損の原因になります。
壁から離して使用する時は、後部ベースを必ず取り付けてください。
また、地震の時などでも安全にお使いいただくために、本体背面のVESA穴を利用して丈夫な紐で壁とつなぐなどの対策を施して転倒や落下しないようにしてください。



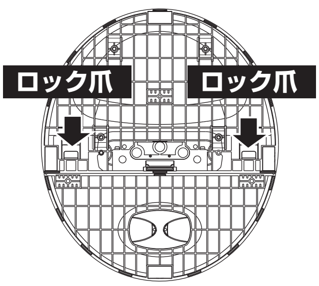
壁に寄せて設置した時

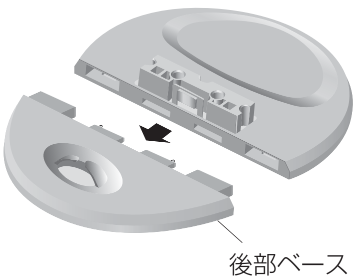
[準備2] スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる

後部ベースを分離する

[必要に応じて]

1 **図に示すベーススタンド裏面のロック爪を押してロックを解除し、後部ベースを引っ張って取り外します**





お 願 い

● 取り外した後部ベースは、大切に保管ください。

壁に寄せて設置する

2 **転倒しないように壁に寄せて設置する**

[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

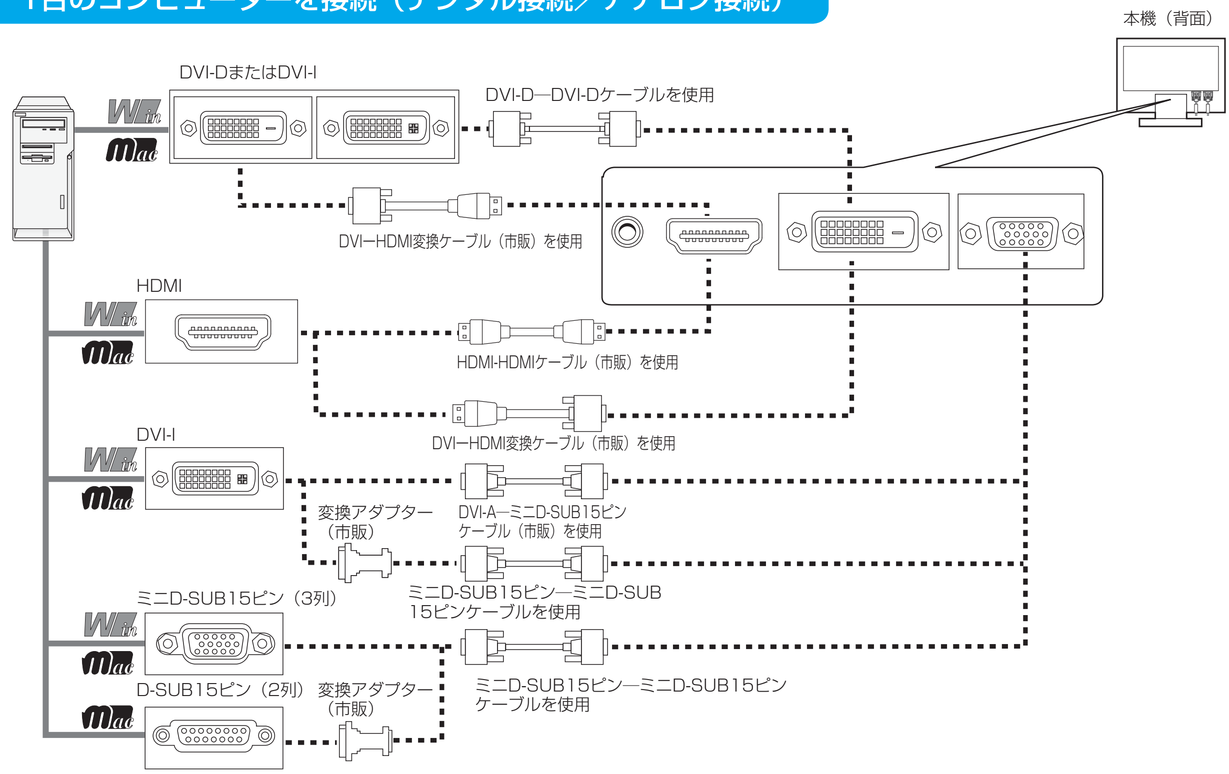
お 願 い

● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

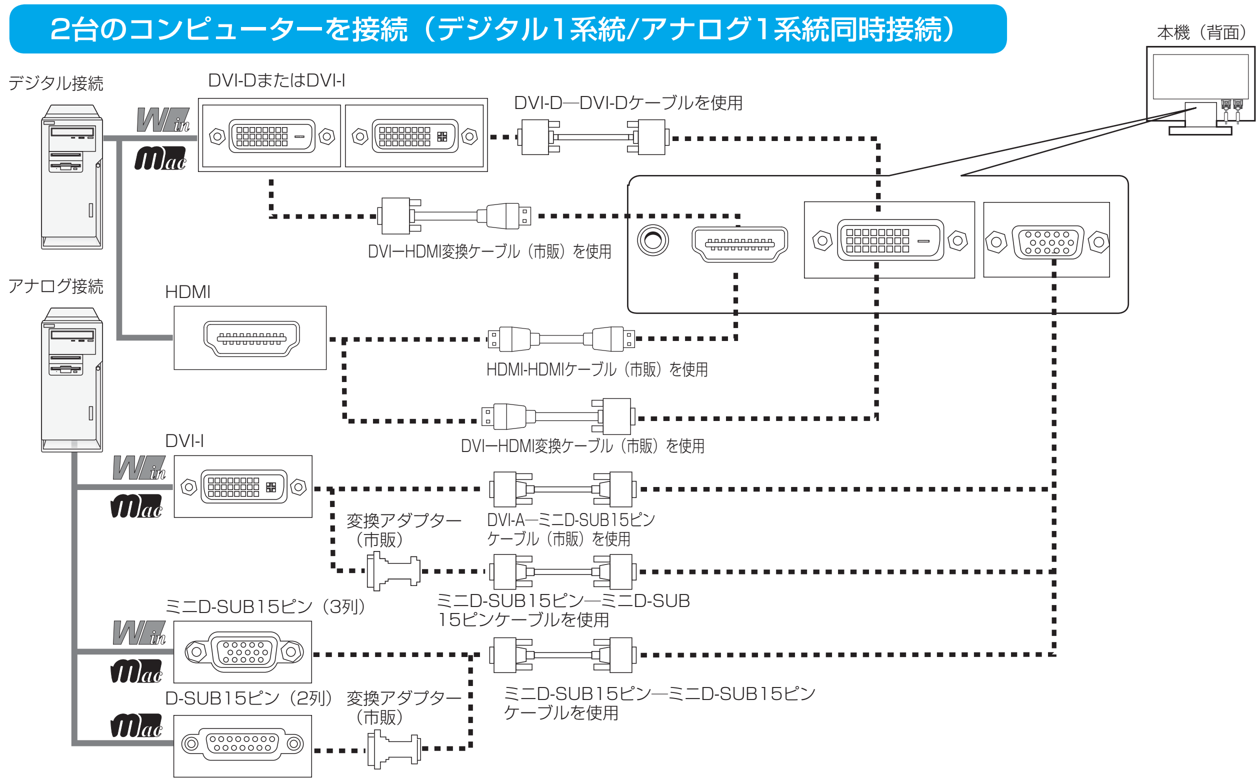
お知らせ

● 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）



2台のコンピューターを接続（デジタル1系統/アナログ1系統同時接続）

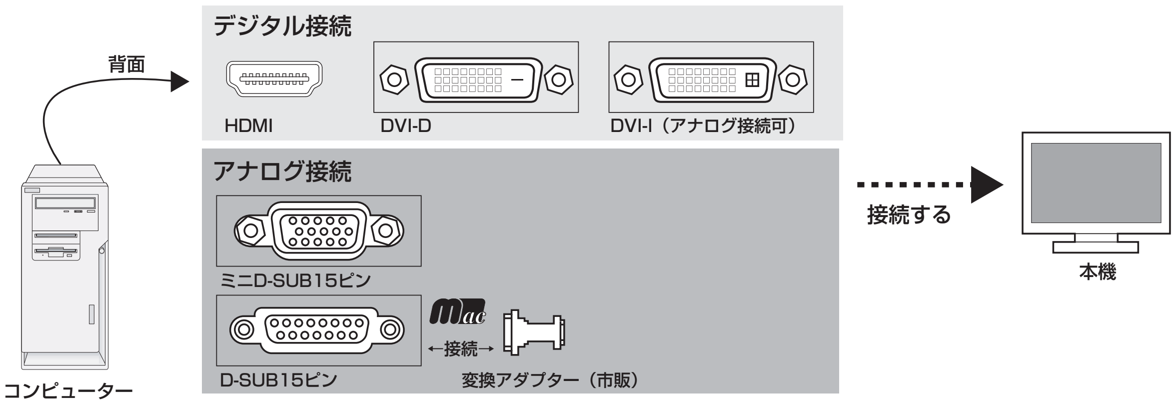


2台または3台のコンピューターを接続（デジタル2系統/アナログ1系統同時接続）

前ページの接続図において、2台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機のHDMI端子とDVI-D端子にそれぞれ接続してください。
さらにもう1台のコンピューターをアナログ接続することにより3台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D,HDMI）に対応しています。
また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



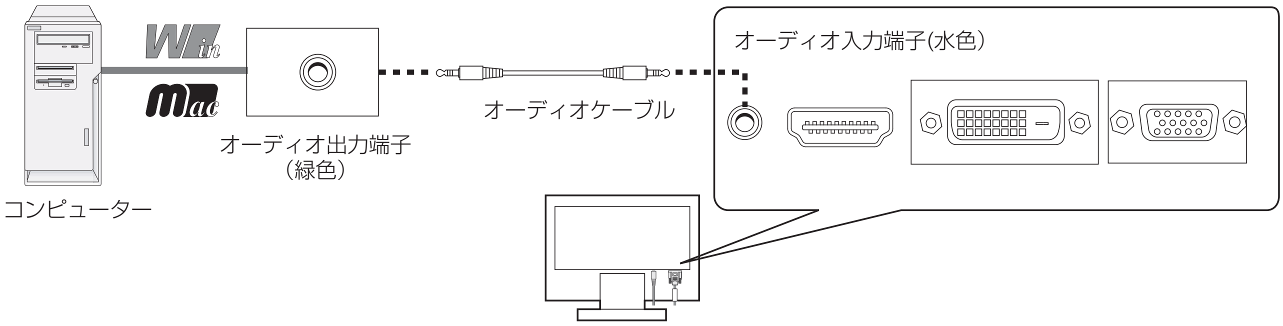
接続コネクターと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ）	DVI-D（デジタル）	HDMI（デジタル）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-A—ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）またはミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI—HDMIケーブル（市販）で接続
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン Mac（アナログ接続）（2列）	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	接続できません	接続できません

DVI-I : デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能
DVI-D : デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A : アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクターが異なります。
※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。
※ 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI® ケーブルをご使用ください。

コンピューターのオーディオ出力端子と接続



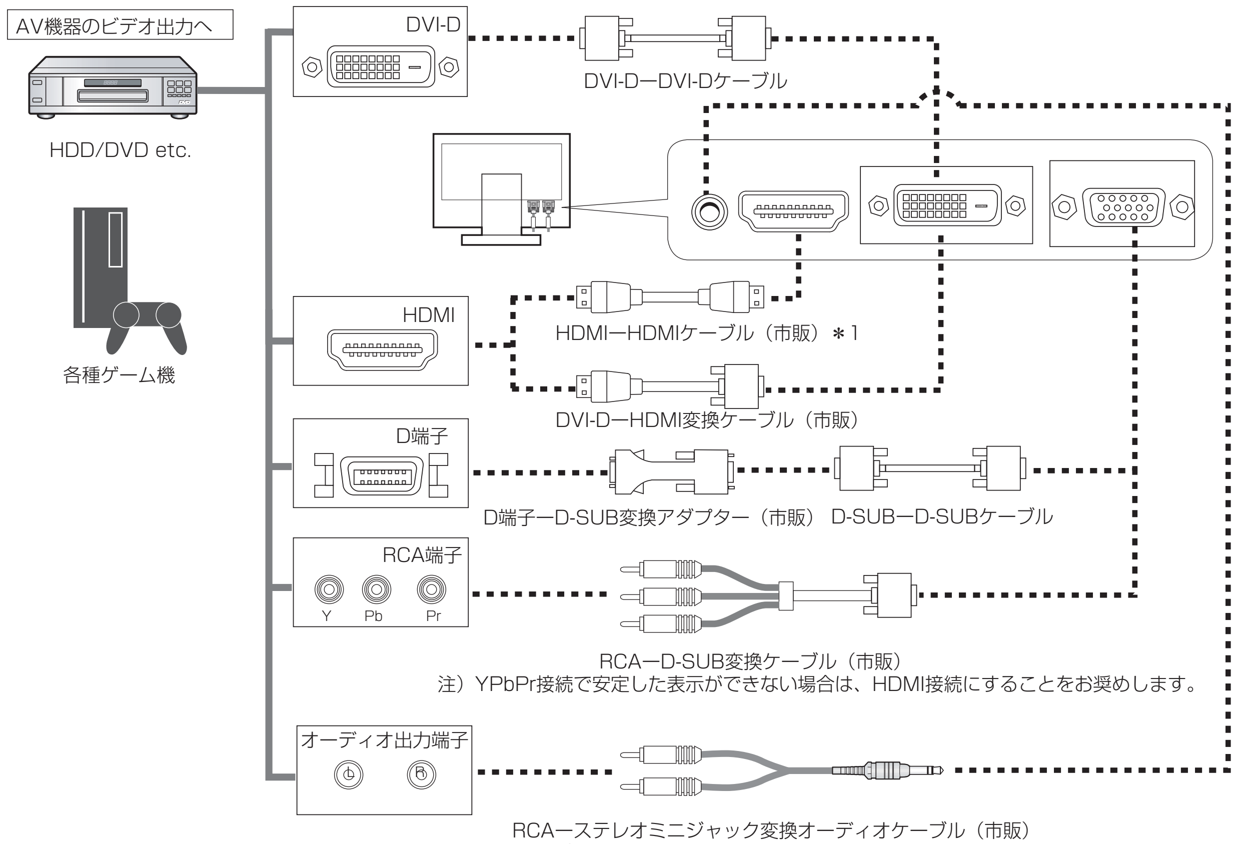
お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品あるいはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものをご使用ください。
  抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備4] ディスプレイとAV機器を接続する [必要に応じて]

HDD/DVDや各種ゲーム機器などのAV機器と市販のケーブルで接続してください。

本機はAV機器などと接続して使用することができます。
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。



注）YPbPr接続で安定した表示ができない場合は、HDMI接続にすることをお奨めします。

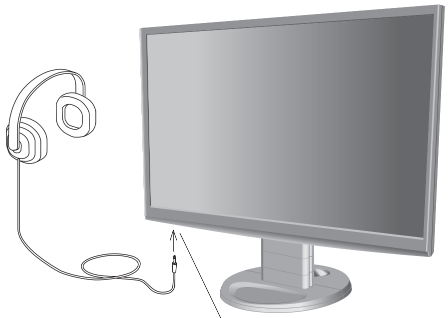
注）HDMI入力（＊1）の場合、オーディオ接続は不要です。
DVI-D入力またはD-SUB入力でAV機器と接続される場合、音声信号はAV機器のオーディオ出力端子と本機のオーディオ入力端子を接続してください。
（AV機器のHDMI端子出力を本機のDVI-D端子に接続しても音声信号は出力されません。）

お知らせ

- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
  数秒（5～30秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  ・本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  ・OSDの「入力自動切換」機能をオフすると表示されやすくなる場合があります。
  ・一旦、電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。
  ・AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- 本機のDVI-D入力端子にDVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）を使用してAV機器を接続した場合、AV機器によっては「正常な画面にならない」「映らない 」または、「表示解像度が制限される」などの症状が発生する場合があります。そのような時は、HDMI—HDMIケーブル（市販）を使用して接続してください。
- すべてのHDMI機器への接続を保証するものではありません。
- 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI® ケーブルをご使用ください。

[準備5] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。



⚠注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。**
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。**

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音は消えます。
- 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。

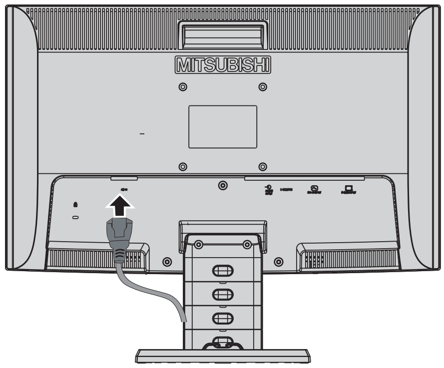
[準備6] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。

お 願 い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

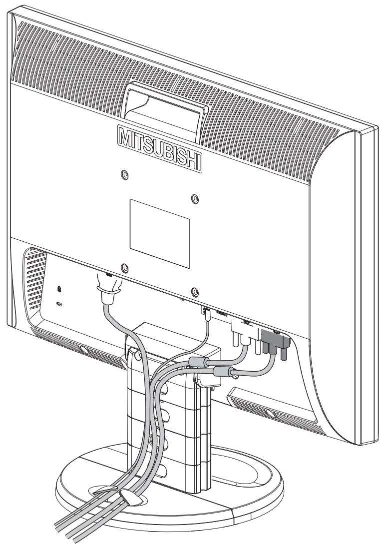


[準備7] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

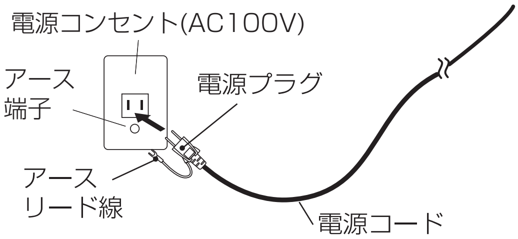
本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

お 願 い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。
  設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダー部へは、 細いケーブルから順番に入れて、電源コードを最後に挿入するとホルダーから外れにくくなります。



[準備8] 電源プラグのアースリード線を接続する
[準備9] 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する



お 願 い

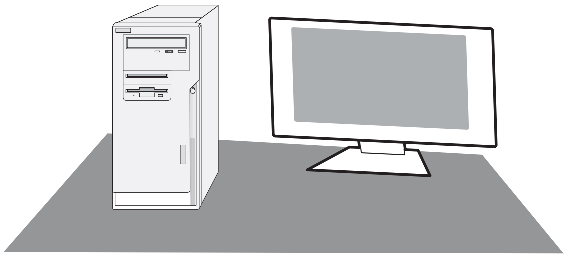
- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
  This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。
  AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は電源コンセントのアース端子などへ必ず接続してください。
  なお、アースリード線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
  また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

[準備10] 設置する

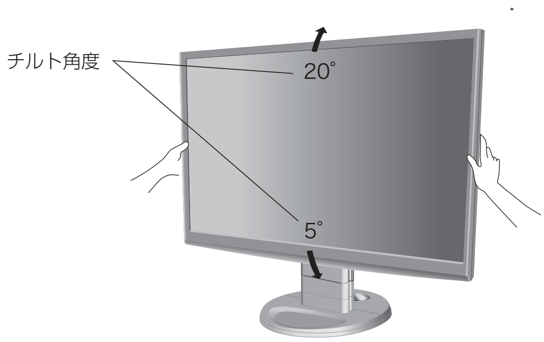
ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。



[準備11] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。



液晶画面を押さないようにしてください。

⚠注意

角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。
けがの原因となることがあります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために・・・
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

[準備12] 画面調節

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

■ **デジタル接続の場合**

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ **アナログ接続の場合**

「オートセットアップをする（D-SUB入力のとき）」 →P24 の手順にしたがって画面を調節してください。
オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「調整メニュー」（OSD機能）」 →P31 をご覧ください。

テストパターン

テストパターンは、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。
ご使用方法については、ダウンロードした README をご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

「調整メニュー」の「水平位置」または「垂直位置」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。 →P31

「調整メニュー」の「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。 →P31

「画質メニュー」の「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。 →P29



テストパターン表示画面

お知らせ

テストパターンは、64bit版OSに対応しておりません。
<対応OS>
Windows®95/98/Me/2000、Windows®XP(32bit版)、Windows Vista®(32bit版)、Windows®7(32bit版)

オートセットアップをする（D-SUB入力のとき）

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。
その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→P31

お知らせ

- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSDの基本操作」→P28 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体にテストパターン →P23 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 オートセットアップをおこなう

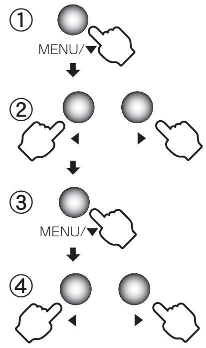
①「MENU」ボタンを押してOSD画面を呼び出す。

②「◀」「▶」ボタンで「調整」にカーソルを移動する。

③「▼」ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動する。

④「◀」「▶」ボタンで「する」を選択する。

⑤「コントラスト」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。



お知らせ

- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。
- オートセットアップ中は、「オートセットアップ実行中」のOSD画面が表示されます。



OSD画面-②



OSD画面-③



OSD画面-⑤

お願い

- DOSプロンプトのように文字のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節→P31 でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合もオートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合も手動調節 →P31 でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。

[準備13] Windows® セットアップ情報 [必要に応じて]

Windows® 95/98/Me/2000/XP/7、 Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

[準備14]　省エネ設定をする　[必要に応じて]

ECO設定の変更

1
① 「MENU」ボタンを押して、OSD画面を呼び出す。
② 「◀」「▶」ボタンを押して、主項目メニューの「ECO PROF.」を選択する。
③ 「▼」ボタンを押して、副項目メニューの「ECO設定」を選択する。
④ 「◀」「▶」ボタンを押して、「オフ」「小」「中」「大」→P33 の中から、お好みの設定をお選びください。





お知らせ
OSDの操作方法は、「OSDの基本操作」→P28 を参照ください。

ECOメーターの表示

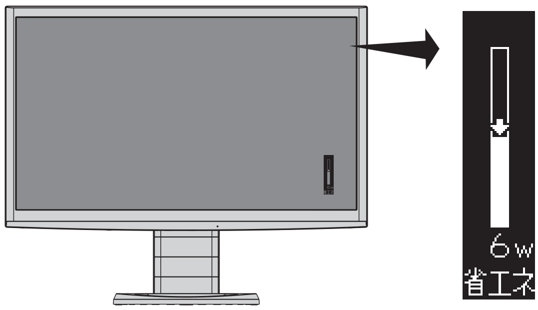
2
常に省エネ状態を確認できる「ECOメーター」を表示したい場合、「ECO PROF.」メニュー画面で
① 「▼」ボタンを押して、副項目メニューの「ECOメーター表示」を選択する。
② 「◀」「▶」ボタンを押して、「する」をお選びください。
③ 「シースルー調節」が有効になりますので、「▼」ボタンを押して選択し、「◀」「▶」ボタンを押して、「する」をお選びください。
④ ECOメーターシースルー調節OSD画面が表示されますので、「◀」「▶」ボタンでお好みの透過率に設定してください。

この「シースルー調節」メニューは、設定した後に自動的に「しない」に戻ります。

ECOメーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。
表示値：消費電力へ影響する「ブライトネス」「CRO」「ECO設定」により値が変ります。

⑤ 「INPUT/EXIT」ボタンを3回押し、OSD画面を消した後に、画面の右下にECOメーターが設定した透過率で表示されます。
「ECOメーター」を表示したくない場合は、「しない」を選択するか透過率を「0%」にすると消えます。





省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。
「省エネ電力量リセット」を選択して、「する」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO_2削減量」がゼロに戻ります。

お知らせ
上図のECOメーターは表示の（例）です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値(W)は変化します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

機能

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSD画面の構成

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。

副項目メニュー
選択項目が青い背景になります。
▼ ボタンで調節したい項目へ移動します。
選択された項目の調節バーは黄色い背景へ変ります。

お知らせ
●入力信号、DV MODEの設定 →P36 により、調節／設定できないメニューがあります。

主項目メニュー
選択項目が青い背景になります。
◀ ▶ボタンで調節したい項目へ移動します。



操作ボタンの配列（キーガイド）
そのOSD画面で必要な操作ボタンを表示しています。

調節バー
バーが伸び縮みします。調節状態の割合を感覚的にお知らせします。
両端の ◀ ▶ マークは調節可能な状態であることを示します。

調節割合
調節状態の割合を数値でお知らせします。

OSDの基本操作

OSDの操作は、以下に示すような構成になっています。

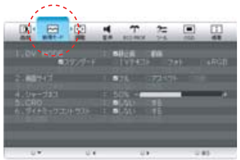
OSD画面の状態

手順①
本機の電源を入れる。

手順②
「MENU/▼」ボタンを押してOSDメニュー画面を表示する。



手順③
「◀」「▶」ボタンで調節する項目の主項目メニューを選択する。



選択したメニューフラグが青色になる。

手順④
「▼」ボタンで調節する項目の副項目メニューを選択する。



選択したメニューバーが青色になる。

手順⑤
「◀」「▶」ボタンで調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる。

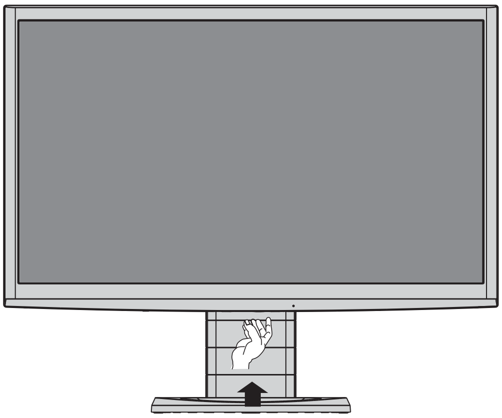


選択した項目の背景が黄色になったり、調節量の表示バーが増減する。

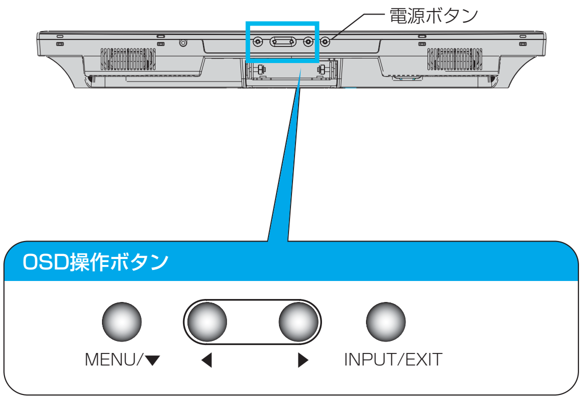
手順⑥
「INPUT/EXIT」ボタンを押して、主項目メニュー選択OSD画面に戻す。



手順⑦
もう１度、「INPUT/EXIT」ボタンを押して、OSD画面を消す。



下側よりボタンを操作する



お知らせ

● OSD画面が表示された後、操作が行われない場合は、OSD表示時間で設定された時間が経過すると自動的に消えます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

画質

◐ 画面の明るさやカラー調節をおこなうことができます。



■ **ブライトネス**
画面の明るさをお好みの状態に調節してください。

■ **コントラスト**
画面のコントラストをお好みの状態に調節してください。

■ **ブラックレベル**
画面の暗い部分に注目して、画面の黒レベルを お好みの状態に調節してください。

■ **色温度**
「USER」「9300」「6500」「5000」の中からお好みの色温度を選択してください。

■ **赤色**
色温度で「USER」を 選択した時に、赤色を調節できます。

■ **緑色**
色温度で「USER」を 選択した時に、緑色を調節できます。

■ **青色**
色温度で「USER」を 選択した時に、青色を調節できます。

■ **色あい**
画面の色あいをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

● DV MODEで「動画」が選択されている場合のみ、調節できます。

■ **色のこさ**
画面の色のこさをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

● DV MODEで「動画」が選択されている場合のみ、調節できます。

映像モード

DV MODE・画面サイズ・オーバースキャン設定などの選択ができます。



■ DV MODE

お好みの画質モードを選択できます。
静止画:「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」
動画　:「TV」「シネマ」「ルックアップ」

お知らせ

● HDMI接続時、DV MODEの出荷設定は「動画」(TV)になっています。
コンピューターをHDMI接続でご使用の場合は、DV MODEは「静止画」でのご使用を　おすすめします。

■ 画面サイズ

自動的に表示画面を拡大します。
「フル」「アスペクト」「自動」からお好みのモードをお選びください。

お知らせ

●「自動」はHDMI入力のときのみ選択できます。

■ オーバースキャン

オーバースキャン機能の「する」・「しない」を選択します。
AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。
「する」を設定することで画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

「しない」:入力された映像をそのまま表示します。
「する」　:入力された映像の外周部をカットして拡大表示します。



入力信号映像画面　　「する」で調節された画面イメージ

お知らせ

● AVタイミングを表示している時のみ選択できます。

■ シャープネス

文字や映像のキレを調節することができます。

■ CRO

CRO（コントラストレシオオプティマイザー）機能の「しない」「する」を選択します。
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。
画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

お知らせ

● DV MODEで「スタンダード」または「動画」が選択されている場合のみ選択できます。

■ ダイナミックコントラスト

ダイナミックコントラスト機能の「しない」「する」を選択します。
コントラスト感を改善して鮮明な映像にします。

お知らせ

● DV MODEで「スタンダード」または「動画」が選択されている場合のみ選択できます。

■ 黒白伸張

入力映像に対して、黒白伸張を行います。
「する」「しない」から、お好みのモードをお選びください。
映像が黒浮きしているような場合は、「する」を選択ください。
映像の黒領域・白領域の階調がつぶれているような場合は、「しない」を選択ください。

お知らせ

● デジタル入力（DVI-D、HDMI）の時、DV MODEで「スタンダード」または「動画」が選択されている場合のみ選択できます。

調整

画面の位置・水平サイズ・位相の調節・解像度切換および
オートセットアップをおこなうことができます。



お知らせ
- 調整項目メニューは、全てD-SUBコネクターへのPC信号入力時のみ操作できます。
YPbPr信号入力の場合はスキップされます。

■ オートセットアップ

「する」選択で、オートセットアップ機能を実行します。 →P25

■ 水平位置

画面位置を左右方向に移動させて調節してください。

■ 垂直位置

画面位置を上下方向に移動させて調節してください。

■ 水平サイズ

表示画面幅を調節します。
画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。

■ 位相

画面に横方向のノイズがあったり、文字のにじみ、輪郭のぼやけがある場合に調節します。

■ 解像度切換

入力解像度を、手動にて直接指定することができます。
「1360x768」「1280x768」「1024x768」の入力信号に対しては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。
その場合は、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で表示することができます。

音声

音量調節・消音設定・音声選択ができます。



■ **音量**

音量を調節します。

■ **消音**

消音機能の「しない」「する」を選択します。

お知らせ
- 電源オフ、消画モードで消音機能は解除されます。
- 設定後、下記の状態表示アイコンが画面に2秒間表示されます。

「する」の場合: 　「しない」の場合: 

■ **音声選択**

「自動」・「PC」から選択します。

「自動」:入力選択に応じて、自動的にオーディオ入力を切り替えます。
- D-SUB、DVI-D入力時:オーディオ入力端子が選択されます。
- HDMI入力時:HDMIオーディオが選択されます。

「PC」:オーディオ入力端子が選択されます。
（HDMI入力画面表示時にオーディオ入力端子からの音声を、お聴きになりたい場合にご使用ください。）

ECO PROF.

さまざまな省エネ設定ができます。

ECO Professional機能とは省エネに配慮した以下の機能の総称です。



■ **オフタイマー**

「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源オフすることができます。

お知らせ

● 消画モード動作時も、設定した時間後に自動的に電源オフします。

■ **消画モード**

消画モードの「しない」「する」を設定します。
お休み時など、画面を消してオーディオ機能のみをお使いになりたい場合にこの設定を行ってください。
（画面が消えるため、節電効果があります。）
消画モード時、電源ランプが緑色で点滅します。
「◀」「▶」ボタンで音量を調節できます。
「MENU/▼」か「INPUT/EXIT」ボタンのいずれかを押すと消画モードから抜けて入力信号があれば画面が表示されます。
電源オフでも消画モードは解除されます。

■ **電源自動オフ**

本機のパワーマネージメント機能動作後、およそ30分で電源を自動的にオフすることができます。

お知らせ

● 本機能動作後は、電源オフされているため再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。

■ **ECO設定**

「オフ」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。

「オフ」:省エネモード設定を解除します。
「小」 :画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約3W（*）削減します。
「中」 :画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約9W（*）削減します。
「大」 :画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約11W（*）削減します。

お知らせ

● 「オン」時には、画面の明るさが低減します。
● （*）マーク説明：画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定「オフ」にした状態との比較値です。（当社測定結果による）

■ **ECOメーター表示**

ECOメーターを表示する時は、「する」に設定します。
【シースルー調節】
ECOメーターの表示透過率を調節する場合は、「する」に設定します。
表示透過率の設定OSDが表示されますので、お好みの状態に調節してください。

お知らせ

● ECOメーターは、現在の省エネ電力値を画面右下にリアルタイムに表示します。
● 省エネ電力値：ECO設定の動作時や画面の明るさ（ブライトネス）を暗くした時に得られる電力削減値です。

■ **省エネ電力量リセット**

「する」を選択するとECO PROF. OSD画面の下部に表示している省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO2削減量がゼロにリセットされます。

お知らせ

● 省エネ電力量と省エネ率表示値は5年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。
積算の上限に達していますのでリセットしてください。
● 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO2削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることをおすすめします。

■ **省エネ電力量（表示のみ）**

省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率およびCO2削減量をOSD画面上に表示します。

省エネ電力量：ご使用を始めて（またはリセットした時点）から現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「＊＊＊.＊＊kWh」で 表示します。なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。
省エネ率　：省エネ電力量の削減効果を「＊%」で表示します。
表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。
CO2削減量 ：省エネ電力量をCO2削減量に換算した値を「＊＊kg」で表示します。

お知らせ

＊CO2削減量は、1kWh=0.4kg（「各国における発電部門のCO2排出原単位の推計報告書-Ver.3(2006.6Revised)-」(JEMA)より） を用いて算出。

ツール

入力自動切換・ホットキー・操作ロック・DDC/CI・スキップモード・EDID SELECT・オールリセットの設定ができます。

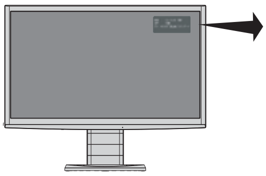


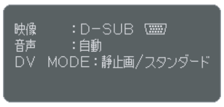
■ **入力自動切換**

信号が入力されているコネクターを自動的に選択する機能です。
「しない」「する」を設定できます。
複数の入力信号がある場合に「INPUT/EXIT」ボタンを押さなくても、現在表示中の入力信号が切れると自動的に信号が入力している画面に切り替わります。

お知らせ

- 選択されているコネクターは、「情報」のOSD画面で確認できます。
- 「しない」選択で、INPUT/EXITボタンでの手動切り替え時は、切り替え毎に画面右上に数秒表示されるサブ情報OSD画面で選択されているコネクターを確認できます。
- HDMI入力は、本機能に対応していません。





「映像入力コネクター」「音声設定」「DV MODE設定」「スキップモード」情報を表示します。

■ **ホットキー設定**

メインOSD画面がでていない時、「◀ 」ボタンと「▶ 」ボタンはダイレクト操作のホットキーとして機能します。
「◀ 」ボタンと「▶ 」ボタンに「DV MODE」「音量」「消音」「ブライトネス」「消画モード」「オフタイマー」の機能を割り付ける機能です。
それぞれのボタンにお好みの機能を割り付けてください。
消画モード時は強制的に「音量」が割り付けられます。

お知らせ

- 出荷時設定は「◀」ボタン：DV MODE
  「▶」ボタン：音量

■ **操作ロック** →P37

OSDの誤操作を防止するため、操作禁止を設定／解除します。

■ **DDC/CI**

DDC/CI通信機能の「しない」「する」を選択します。

お知らせ

- 「しない」を選択すると、外部からの制御ができなくなります。
- 工場出荷時設定は「する」です。

■ **スキップモード**

DVI-D入力とHDMI入力は「する」を選択すると、入力を強制的に無効にすることができます。
設定した入力は、「INPUT/EXIT」ボタンを押しても切り替わらず、スキップされます。
ご使用にならない入力を「する」に設定することにより、入力切り替えをよりスムーズに行うことができます。
再度、入力を有効にする場合は、「しない」に設定してください。

お知らせ

- 表示している入力をスキップ設定することはできません。
- パワーマネージメント機能 →P39 によるスリープ状態（電源ランプが橙色）の時に「INPUT/ EXIT」ボタンを2秒以上長押しすると、全入力スキップモードは解除されます。

■ **EDID SELECT**

DVI-D入力コネクターの入力モードを選択します。

PC：DVI-D入力コネクターにコンピューターを接続する場合（工場出荷時設定）
AV：DVI-D入力コネクターにゲーム機やDVDプレイヤーなどのAV機器を接続する場合

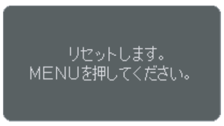
お知らせ

- DVI-D(デジタル）入力のみ選択できます。

■ **オールリセット**

「画質」「映像モード」「調整」「音声」「ECO PROF.」「ツール」「OSD」の各設定を出荷状態に戻します。

「する」を選択すると下記のOSDが画面に表示されます。
『MENU」ボタンを押すとリセットを実行します。



オールリセットが完了すると下記のOSDが画面に表示されます。



お知らせ

- ECO PROF.の省エネ電力量と省エネ率およびCO2削減量はリセットされません。
  リセットしたい場合は、ECO PROF.の省エネ電力量リセットメニューで行ってください。
- 「言語切換」「消音」「EDID SELECT」はリセットされません。

機能（つづき）

OSD

OSD画面の表示位置や表示時間の調節および表示言語の切り替えをおこなう事ができます。



■ **OSD水平位置**

OSD画面の左右の表示位置を調節できます。

■ **OSD垂直位置**

OSD画面の上下の表示位置を調節できます。

■ **OSD表示時間**

OSD画面の表示時間（10～120秒）を設定できます。

■ **言語切換**

OSD画面の表示言語を「日本語」と「ENGLISH」から選択できます。

機能（つづき）

情報

ご使用のモニター情報（モデル名とシリアルナンバー）および入力信号情報をお知らせします。

お知らせ

- 入力信号によっては、解像度や周波数を正しく表示できない場合があります。



OSD機能補足説明

OSD機能の補足説明をします。

画面サイズ →P30

「フル」、「アスペクト」、または「自動」をお選びいただけます。

画面サイズ	フル	アスペクト	自動
PCタイミング	○	○（*1）	×
AV SDタイミング (480p)	○（スクイーズ用）	○（4:3用）	○（*2）
AV HDタイミング (1080p/720p/1080i)	○	×	×

[○:選択可　×:選択不可]



フル　　　：映像を画面全体に拡大します。
アスペクト：縦横比を変えずに画面を拡大します。（画面の左右に黒帯ができます。）
自動　　　：AV SDタイミングの4:3とスクイーズの映像信号を自動で判断し、アスペクト（4:3）かフル（スクイーズ）で表示します。

お知らせ

- 一部の解像度では画面全域に拡大されません。
- 入力信号によっては、縦または横方向に十分に拡大されない場合があります。
- (*1)印:16:9タイミングは、アスペクト選択できません。
- 480iの信号が入力された場合はコンテンツによってちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に切り替えてご使用ください。
- (*2)印:HDMI接続時のみ選択可能です。
- 「自動」の設定で、画面が正しいアスペクト比で表示されない場合は、手動で「フル」もしくは「アスペクト」を選択してください。

DV MODE →P30

適切な画質を簡単に設定できます。
最初に映像の種類に応じて「静止画」か「動画」を選択します。
その後、メニューの中からお好みの表示モードをお選びください。
また、ホットキー機能 →P34 を使うことで、
「静止画」と「動画」をダイレクトに切り替えることができます。



お知らせ

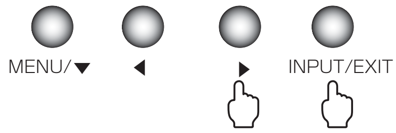
適切な画像表示モードにするためブライトネス、色温度、シャープネス、CRO、ダイナミックコントラストなどは選択したモード毎に個別の値を持っていますが、モードによって値が変ったり調節/設定ができない副項目メニューがあります。

【静止画】
スタンダード　:標準の設定です。
IVテキスト　:全体の明るさ、コントラストを抑え目が疲れにくく、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。
フォト　:自然画／静止画に適した設定です。
sRGB　:国際色再現規格で表示する設定です。

【動画】
TV　:TV番組を視聴するのに適した設定です。
シネマ　:暗いシーンの多い映画を見るのに適した設定です。
ルックアップ　:寝ころんで見上げる姿勢でも奥行き感を阻害しない設定です。

操作ロック →P34

誤って調節してしまうことを防ぐためにOSDメニューの操作禁止を設定、解除できます。
操作ロックが選択された時に「 ▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作はロックされ「操作ロック中」が表示されます。





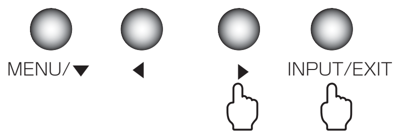


お知らせ

操作ロックはメインOSD操作のみがロックされます。
「電源スイッチ」、「INPUT/EXIT」および「◀ 」「 ▶」ボタンのホットキーに割り付けた機能は動作します。

操作ロックの解除

「MENU/▼」ボタンを押して、「操作ロック中」OSDを表示させ再び「▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックは解除されます。



工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。但し、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。
また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、オートセットアップ →P24 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Machintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Machintosh
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	
1360 × 768	47.7kHz	60.0Hz	
1600 × 900	60.0kHz	60.0Hz	
1920 × 1080	33.7kHz	59.9Hz	1080i
1920 × 1080	67.5kHz	59.9Hz	1080p（推奨タイミング）
1280 × 720	45.0kHz	59.9Hz	720p
720 × 480	31.5kHz	59.9Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ →P24 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5~82.3kHz、垂直周波数：56~75Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- 本機は解像度1920×1080以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1920×1080より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。



NTAA実行中画面

お知らせ

- アナログ入力信号（D-SUB入力）のみ機能します。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ →P10
通常動作時	35 W	緑色点灯
スリープモード時	0.35W以下（AC100V時）	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
  画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

困ったとき

故障かな？と思ったら

表示されないときは…

このようなときは、チェックしてください。

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	消画モードを「する」に設定していませんか？	P33
		本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P46
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P20, P21
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	—
		電源コードをコンピューターの本体の電源コンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
		電源自動オフを設定していませんか？ その場合は、再度電源ボタンを押してください。	P33
	電源ランプが緑色に点灯している場合	「MENU/▼」ボタンを押してOSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P28
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P46
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は、「画質」メニューの「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P29
		● OSD画面が正常に表示され「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15, P38
		HDCP対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	—
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P39
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P15
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P15
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	—
		入力選択が合っていない可能性があります。「INPUT/EXIT」ボタンを押して電源ランプが緑色に点灯している間に「INPUT/EXIT」ボタンを押して入力切り替えをおこなってください。	P10

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
突然画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 接続されている全てのケーブルを抜いて再接続してください。	P15
		オフタイマー機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンしてください。	P33
		電源自動オフ機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンして設定を確認してください。	P33
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※液晶ディスプレイに使用しているLEDバックライトには寿命があります。	P46
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが､液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	線の太さなどがぼやける	1920x1080以外の解像度を表示すると､このような症状が生じることがありますが､故障ではありません。PCの出力解像度を1920x1080に設定してください。 または､OSD画面により｢シャープネス｣を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ接続の場合は､｢オートセットアップ｣を実行すると軽減できる場合があります。	P38
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8, P51
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色あいの変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P22, P52
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルはLEDバックライトを使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また、周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8, P51

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

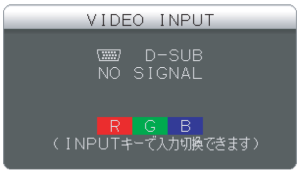
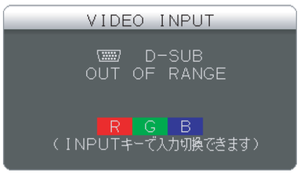
表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示が横長に伸びている	1920x1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を1920x1080に設定してください。 または、OSD画面により「画面サイズ」を「アスペクト」に設定してください。	P30, P38
	表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P28
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P46
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は、「画質」の「USER」を選択し、お好みで色の割合を調節するか、「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P29, P34
		● OSD 画面が正常に表示され、色を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15, P38
		● ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P15
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P15
	画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P28
		● OSD画面が正常に表示されない場合は、故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P46
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「調整」の「位相」を選択し調節してください。	P31
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P15, P38
		● 上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを60Hzに設定してください。リフレッシュレートの設定ができない場合は「EDID SELECT」をPCに切り替えてください。	P34
	画面が切れている（全て表示されない）	● オーバースキャンを「しない」に設定してください。	P30

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	AVタイミング480iの信号を入力した際に画面がちらつく	480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に切り替えてご使用ください。	—

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	原　因	対　処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された※1	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P15
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	—
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P39
	HDCP 対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒程度お待ちください。	—
画面に「OUT OF RANGE」が表示された※2	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P38
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度を変更してください。	P38

※1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症　状	原　因	対　処	参照
解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。または、DVI-D入力であれば「EDID SELECT」→P34 を切り替えてください。	P10, P34
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P25
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	—
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認ください。	P17
	ヘッドホンが接続されている場合スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P19
	音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。	OSDメニューの「音声: 」で音量を調節、または消音メニューで「しない」を選択してください。	P32
	「音声選択」で「PC」を選択している場合、オーディオ端子側のみを認識しています。	HDMI接続時には「音声選択」で「自動」を選択してください。	P32
AV機器の映像が何も映らない！または、画面に「NO SIGNAL」が表示された	一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒（5～30秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 一旦、電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。 ●AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	—
		入力選択が合っていない可能性があります。「INPUT/EXIT」ボタンを押して電源ランプが緑色に点灯している間に「INPUT/EXIT」ボタンを押して入力切り替えをおこなってください。	P10, P34

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。
当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル
資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込
"PCリサイクルマーク"の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ"PCリサイクルシール" を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ； www.pc-eco.jp **画面の** PCリサイクルマーク申込 **からお入りください。**	**ご注意：** 法人（事業者）のお客様で、ご購入頂いた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
  日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）
フリーダイヤル　0120-71-3322	フリーダイヤル　0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～ 12:00　午後1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT233WLM、RDT233WLM（BK）**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PCおよびグラフィックボード（メーカー，形名）、解像度、入力信号（アナログ，デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

- 無料出張サービス規定
  この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット(現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

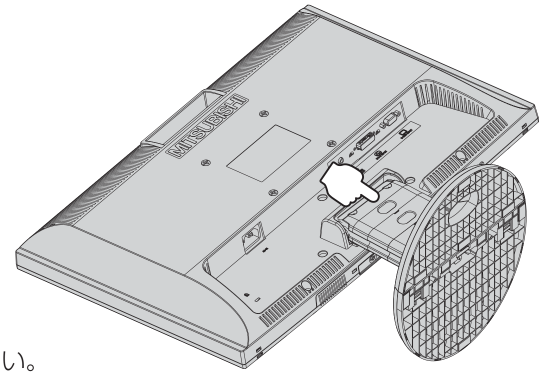
個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
  三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問合せ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
     ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
     ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

付録

再梱包するとき

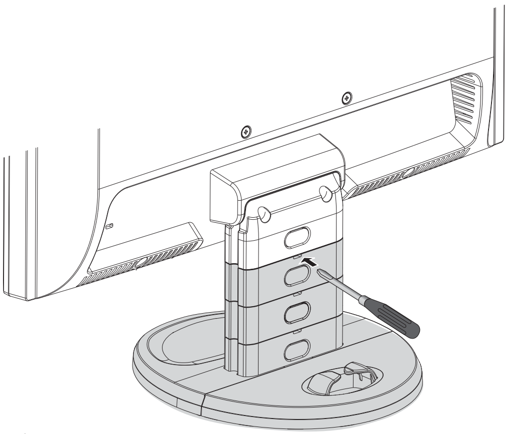
再梱包の際は次の手順でスタンドを取り外してください。



水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。
図のようにブロックネック背面の最上部ロックボタンを指で押しながらスタンド（ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたもの）を外してください。
取り外したベーススタンドとブロックネックは分離して再梱包してください。

お知らせ

ブロックネックが容易に引き抜けない場合は、ブロックネック背面の凹穴にマイナスドライバーを差し込んで分離させてください。



⚠注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部を傷つけないように注意してください。

お 願 い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないようにしてください。

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お 願 い

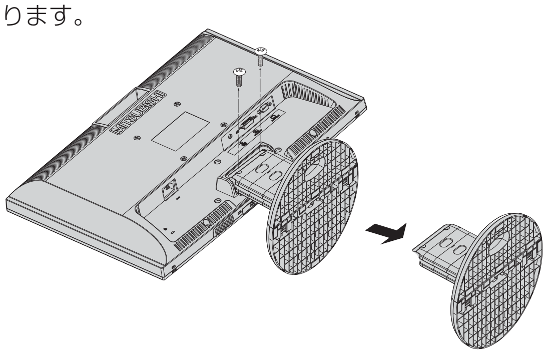
● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約3.8kgです。）

お知らせ

● 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■ アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

1 **本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外してください。
その後、本体側のスタンドネックを取り付けている2本のネジを取り外し、スタンドを引き抜いてください。**



【スタンドの取り外し】

お 願 い

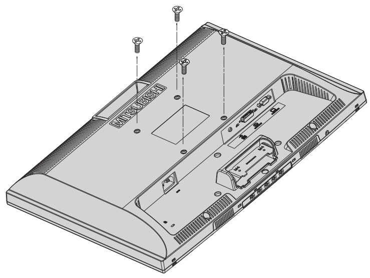
● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

2 **アームを取り付ける前にVESA穴の4本の化粧用の皿ネジを取り外してください。**

お 願 い

● スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。

● ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。
なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

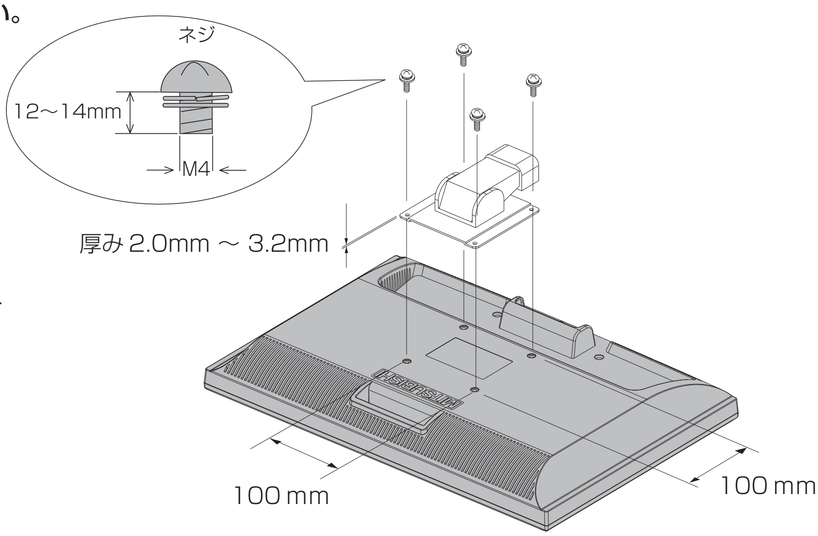


【VESA穴ネジの取り外し】

3 **下記のようにアームを取り付けてください。**

取付可能アーム：
　取付部厚み 2.0mm ～ 3.2mm
　VESA 規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締めてください。（但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137N · cm が適切な締付トルクです。）



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

市販のアームを取り付けるとき（つづき）

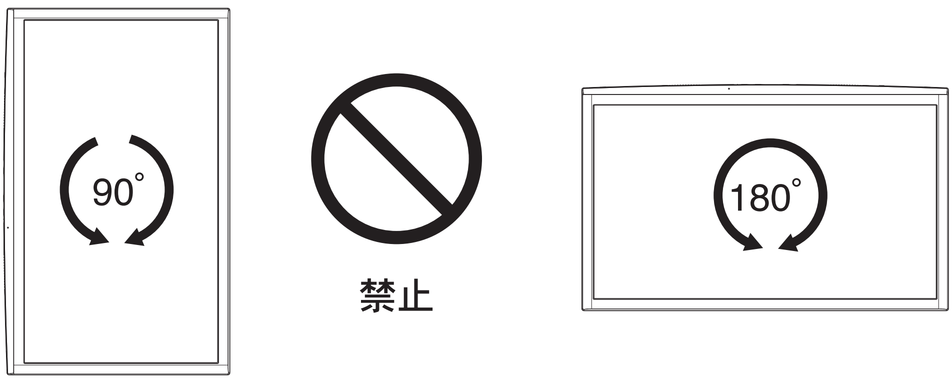
⚠注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、２人以上で取り付け作業をおこなってください。
  落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ（長さ 12 ～ 14mm）
- アームを取り付けて使用される場合でも、90°回転や 180°回転した状態で使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

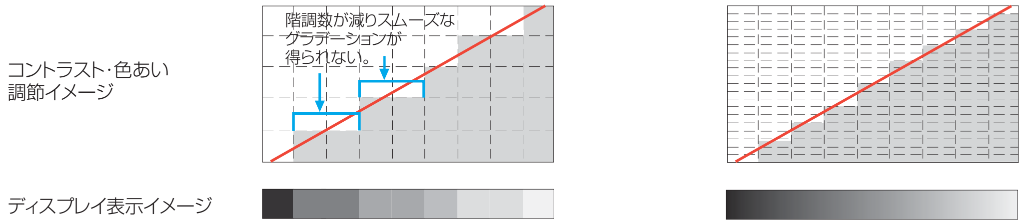


もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

10ビットガンマ機能　　P3
RGB各色256階調の映像信号に、10ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。
より高精度なコントラスト･色あい補正を行うことができます。きめ細かくなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度に行うことができます。



10ビットガンマ補正機能なしの場合　　10ビットガンマ補正機能ありの場合

CRオプティマイザー（CRO:Contrast Ratio Optimaizer)　　P30, P52
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B 規格（Display Data Channel）　　P39
VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格（Display Data Channel Command Interface）　　P52
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM（Display Power Management）　　P39
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE（Dynamic Visual MODE）　　P30、P36
表示する内容に合わせて適切な画面を選択する機能で、静止画が「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」動画が「TV」「シネマ」「ルックアップ」の合計7つのモードから選ぶことができます。

DVI-A端子（Digital Visual Interface-Analog）　　P15, P16
アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子（Digital Visual Interface-Digital）　　P15, P16
デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子（Digital Visual Interface-Integrated）　　P15, P16
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection System）　　P52
デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI（High-definition Multimedia Interface）　　P15, P16, P18
DVDレコーダー/プレイヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

Plug&Play　　P39
Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格　　P30, P36
IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもし易くなります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

用語解説（つづき）

VESA 規格（Video Electronics Standards Association）　P39, P48, P52
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相　P31
アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

応答速度　P52
表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

オーバースキャン　P30, P42
ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみだした状態で表示させる事です（はみ出した部分は、画面には表示されません）。通常のテレビは、オーバースキャンの状態で調節されています。

輝度　P52
単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比　P52
白と黒の明るさの比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント映像信号（YPbPr信号）　P3, P18
映像信号を輝度信号（Y）と色系統信号（赤系（Pr）/青系（Pb））に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生し易い不要な色付きや色にじみなど画質の悪化を抑えることができます。

残像　P8, P41
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角　P52
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート）　P38, P52
画面に表示される画像データは、走査線と呼ばれる線が集まって構成されています。
水平周波数：1 秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数 31.5kHz の場合、1 秒間に走査線を 31,500 回表示するということです。
垂直周波数（リフレッシュレート）：1 秒間に画面を何回書き替えているかを表します。垂直周波数が 60Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回書き替えているということです。

ダイナミックコントラスト　P30
映画に多い暗がりのシーンでは細部の描写がつぶれてしまいます。　それを防ぐために黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

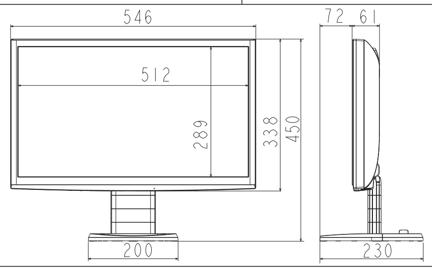
チルト角度　P22, P52
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／ NTAA（No Touch Auto Adjust）P39
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能　P39
コンピューターを使用しない時に本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度　P38, P52
一般的には「解像度」と呼ばれています。1 画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

形名			RDT233WLM	RDT233WLM(BK)
外形寸法（mm）				
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		23型（58.4 cm）	
	液晶方式		TN、ノングレア（反射防止）	
	有効表示領域		509.2× 286.4mm	
	表示画素数		1920 × 1080	
	画素ピッチ		0.265mm	
	表示色		約1677 万色（10億6433万色中）	
	視野角		左右170°、上下160°（コントラスト比10）	
	輝度（標準値）		250cd/m^2	
	コントラスト比		8000：1（CRO非動作時　1000:1）	
	応答速度		5ms	
	バックライト		白色LED	
PC入力	水平周波数		31.5 ～ 82.3kHz	
	垂直周波数		56 ～ 75Hz	
	ビデオ信号		デジタルRGB、アナログRGB	
	同期信号		TMDS、セパレート同期信号（TTL）	
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D(HDCP対応※2）、HDMI アナログ入力：ミニD-SUB15 ピン	
ビデオ入力 ※1	（PC入力コネクターと共用）		DVI-D(HDCP対応)、HDMI、ミニD-SUB15 ピン(コンポーネント)	
音声入出力	入力コネクター		Φ3.5mmステレオミニジャック	
	スピーカー		1W+1W（ステレオ）	
	ヘッドホン		Φ3.5mmステレオミニジャック	
適合法規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV	
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン	
	省エネルギー基準		国際エネルギースタープログラム	
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）	
	プラグ&プレイ		VESA DDC2B	
	その他		PCグリーンラベル（★★☆ 2010年度版）、グリーン購入法、J-Moss、DDC/CI、Windows® 7	
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃	
	湿度		30 ～ 80%（結露のないこと）	
電源	電源入力		AC100-240V　50/60Hz	
	消費電力	標準	35 W	
		省エネモード	スリープモード時：0.35W 以下/オフモード時　：0.2W 以下（AC100V時）	
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ	
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約4.3kg	
		スタンドなし	約3.8kg	
キャビネット色			ホワイト	ブラック
梱包状態（質量/寸法）			約5.7kg ／ 606（W）× 407（H）× 143（D）mm	
チルト角度 / スイーベル角度 / 高さ調節			上20°、下5°／機能なし／ブロックネックx3（30mm／段）	

お知らせ

- 本仕様は予告なく変更される場合があります。
- 解像度1920x1080以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内100V商用電源対応です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

※1　480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング(480p、1080i、720p、1080p)に切り替えてご使用ください。

※2　MachintoshでのHDCP対応は非サポートです。

さくいん

英数字

あ

か

さ

た

は

ま～

三菱電機株式会社

本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

AW-P0898A